

製造業経営幹部が活用強化を進めるデータアナリティクス(分析評価)

IIoT(産業IoT)の未来

[調査結果まとめ - ハネウェル]

事業運営の必須アイテムとされるデータアナリティクス、IIoT導入の差はもはや経営リスク要因に



収益性最大化に対する一番の支障は、予定外のダウンタイム



42%

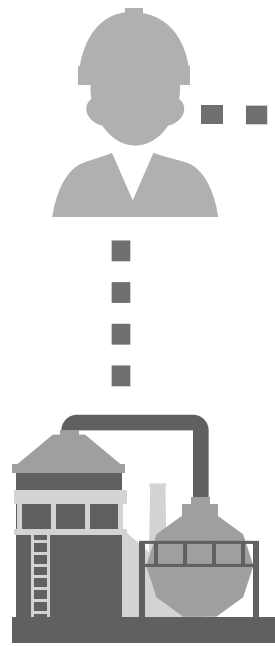
設備の過剰運転がさらなる設備故障や予定外のダウンタイムを引き起こしている



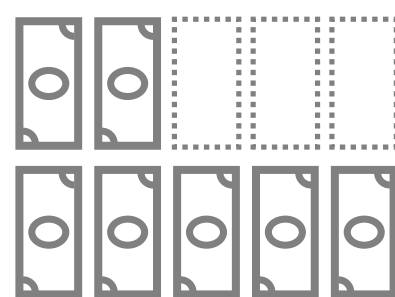
42%

新規設備投資を延期

製造業の収益性に大きく影響する障害要因は設備故障および予定外のダウンタイム(操業停止)であるが、コスト削減の理由から一部の企業ではこれらの障害要因が常駐する環境で操業を継続



価値ある設備投資：
高い情報接続性を持つ
エンタープライズ環境



68%

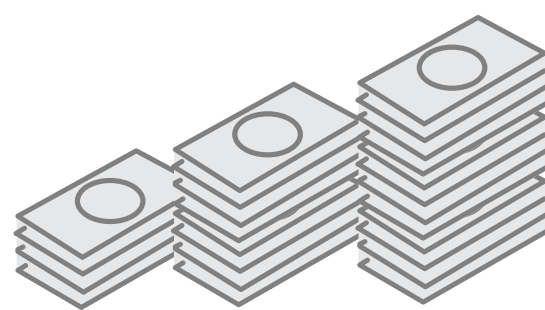
回答者の68%：
現在データアナリティクスに投資している

46%

回答者の46%：
データアナリティクスの
導入利用がもはや必須
であることに同意

65%

経営幹部の65%：
データアナリティクス利用および投資について自社は順調、もしくは先進的に取り組んでいる



67%

今後12か月以内に
データアナリティクス
への投資増加を計画

多くの製造企業が設備投資計画の延期もしくは縮小の必要に迫られるなか、データアナリティクスへの投資を優先的に実施

IIoT未導入
の企業
と現状



1011001
0100101
1111001
1001100
0110011
実証済

10%

利点が過大評価
されている

13%

データアナリティクスの利点を理解していない

8%

成功事例や実績が必要

26%

今後1年の間に
データアナリティクス
への投資を計画して
いない

大多数がデータアナリティクスの価値を大きく評価・認知する一方、相当数の経営幹部は知見を持たない、価値を見出せない、または人材などの社内リソースの問題を理由に投資を行っていない

調査方法：北米で製造業・産業に携わる経営幹部200名に対する電話による聞き取り調査、ハネウェルと KRC Research Inc. が合同で2016年5月23日～6月8日の期間に実施

IIoT by Honeywell (ハネウェルのIIoT)について詳しくは、
ウェブサイト www.hwll.co/iiot をご覧ください

Honeywell